

令和7年度 八幡小学校に関するアンケート（後期）結果
及びアクションプランの進捗状況について

富山市立八幡小学校
校長 高島 恭子

日頃より、本校の教育活動の推進に温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、本校の前・後期の「八幡小学校に関するアンケート」の結果について、お知らせします。裏面以降に、アクションプランの進捗状況と併せて考察しましたので、ご覧ください。

1 八幡小学校に関するアンケートの結果について

A：よく当てはまる B：だいたい当てはまる C：あまり当てはまらない D：全く当てはまらない

	質問項目	時期	児童		保護者	
			A + B	C + D	A + B	C + D
1	学校が楽しい。	前期	98.5	1.5	93.7	6.3
		後期	94.0	6.0	84.6	15.4
2	授業がおもしろい、または内容がよく分かる。	前期	89.7	10.3	77.1	22.9
		後期	91.0	9.0	76.9	23.1
3	自分に合った目当てを立て、学習に取り組んでいる。	前期	92.6	7.4	68.7	31.3
		後期	91.1	8.9	74.3	25.7
4	進んで学習に取り組んでいる。	前期	86.8	13.2	62.5	37.5
		後期	89.6	10.4	64.1	35.9
5	自分にはよいところがある。	前期	83.8	16.2	87.5	12.5
		後期	86.6	13.4	82.1	17.9
6	友達にはよいところがある。	前期	98.5	1.5	89.6	10.4
		後期	98.5	1.5	94.9	5.1
7	思いやりの心をもって、行動している。	前期	91.2	8.8	91.7	8.3
		後期	97.0	3.0	94.9	5.1
8	家族や友達、地域の人に対して、自分でから進んで挨拶ができている。	前期	88.2	11.8	75.0	25.0
		後期	87.0	13.0	76.9	23.1
9	目当てを立て、進んで運動に取り組んでいる。	前期	85.3	14.7	79.1	20.9
		後期	89.5	10.5	76.9	23.1
10	病気やけがのないように心がけている。	前期	86.8	13.2	85.4	14.6
		後期	89.6	10.4	89.7	10.3
11	いろいろなことに対し、最後までやり抜こうとしている。	前期	92.7	7.3	81.2	18.8
		後期	92.5	7.5	76.9	23.1
12	学校は、家庭と連携・協力して、子供の支援・指導に当たっている。	前期			85.4	14.6
		後期			97.4	2.6
13	学校は、経営方針や学校の取組、子供の様子を適切に伝えている。	前期			87.5	12.5
		後期			87.1	12.9

2 アクションプランの進捗状況について

<よく考える子>

独自課題	国語科と算数科の「学習のたしかめ」において、各自が立てた目標点数を達成する割合を80%以上とする。
向上目標	自分の力を見極め、自ら方策を考えて学習に取り組もうとする児童を増やす。

◇進捗状況◇

	1学期	2学期
国	29.2%	59.4%
算	43.1%	42.2%

【結果】達成できませんでしたが、国語科は30%以上増加しました。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：2、3、4

1学期の結果より、2学期は授業に力を入れ、各学年において自己選択、自己調整を取り入れた学習を構想し、一人一人が学ぶことの楽しさを味わえる授業を目指してきました。自己選択では、例えば、生活科でつくりたいおもちゃを自分で選んだり、総合的な学習の時間に調べたいことや取り組みたいことを自分で決めたりするなど、対象を自分で決めることで主体的に学習を進める工夫をしました。自己調整では、例えば、国語科の物語の学習では、全体像の把握や本文の読み取りを自分のやりたい順番で学習するなど自分にあった進め方で学習できるように工夫しました。自分で決めて学習に取り組む要素を授業に取り入れることで、より楽しく学習に取り組む姿が見られました。結果、児童のアンケートの質問項目2「授業がおもしろい、または内容がよく分かる・だいたい分かる」と4「進んで学習に取り組んでいる・だいたい取り組んでいる」では、前期よりも更に評価が上がり、前期よりも主体的に学習に取り組む児童が増えたこと分かりました。また、自己決定しながら学習を進める経験が計画的な学習への取組につながっているのではないかと思います。保護者のアンケートの質問項目3「(子供は)自分に合った目当てを立て、学習に取り組んでいる・だいたい取り組んでいる」の結果が大幅に伸びていることから伺えます。ただ、全体的にどの学年も一斉授業が多く、日常的に自己選択、自己調整を取り入れた学習を進めることができるようとする必要を感じます。

アクションプランの結果としては、国語科、算数科ともに目標の80%を大幅に下回ったままとなりました。原因が二つあるように思います。一つ目は、「学習のたしかめ」を予告し目標点を決定してから実施するまでの期間が短すぎたことです。そのため自主学習が進まなかったのではないかと思います。3学期は、2週間先までの予定を事前に知らせるなど、教師も児童も見通しをもって学習に取り組めるようにしたいと思います。

二つ目は、家庭と連携した取り組みとなっていましたことです。テスト範囲や目標点数が家庭に伝わっておらず、家庭の教育力を十分に生かしきれなかったのではないかと思います。「学習のたしかめ」実施前にはテスト範囲と各自が決めた目標点数を家庭に伝え、学校と家庭が共に児童の頑張りを見守ることができるように改善していきたいと思います。

<心ゆたかな子>

独自課題	学校評価アンケートにおいて、自主的な挨拶ができたと答えた児童の割合を、85%以上にする。
向上目標	進んで挨拶をするよさを実感し、学校や家庭、地域の人と温かい関係をつくっていこうとする児童を増やす。

◇進捗状況◇

	1学期	2学期
	88.3%	87.0%

【結果】達成しました。1学期より1.3%減少しましたが、1、2学期ともに達成しました。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：5、6、7、8

児童アンケート8「家族や友達、地域の人に対して、自分から進んで挨拶ができる・だいたいできている」では少し減少したものの2学期も目標である85%を超えることができました。2学期には運営

委員会が行っている挨拶運動に工夫を加え、玄関を定位置とし、登校してくる多くの児童と挨拶ができるようにしたり、「ハイタッチうちわ」を用意して、楽しく挨拶ができるようにしたりするなど、児童会主体で全校を巻き込んで挨拶を盛り上げたことが主な要因であると考えられます。また、和合中学校とPTAと連携して行った挨拶運動では、普段は挨拶をされる側の低学年の子供たちも一緒に挨拶する側に立って挨拶をする姿も見られました。

日々の学習の中では、トークタイムやペア学習での対話によって、他者を理解する力を高めました。学習発表会を児童参画型で進め、地域に働きかける経験を積み、それに応えたたくさんの方に来校していました。感想をいただきました。また、町探検の実践やゲストティーチャーの招聘、牛ヶ首用水の学習等、ふるさとに関する学習を推進し、地域や地域の人との繋がりを意識し、そのよさを実感しました。また、2年生の生活科「わくわくランド」、3年生の国語科「1年生への読み聞かせ」等、異学年と交流する学習にも取り組み、1学期以上に異学年との仲を深めました。他者との関りに関する児童のアンケートの質問項目6「友達にはよいところがある・だいたいある」、7「思いやりの心をもって、行動している・だいたいしている」の数値がそれぞれ95%を超えて共に高いのは、これらの取組が成果を上げている表れではないかと思います。また、他との肯定的な繋がりが友達や家族、地域の人へ進んで挨拶をする姿につながったのかもしれません。

ただ、気になるのが「自分にはよいところがある・だいたいある」と答える児童が「友達にはよいところがある・だいたいある」と答える児童よりも少ないことです。トークタイムや異学年交流等これまでの取組を続けるとともに、複数の教職員の目で児童の行動を見取り、本人が気付いていないよさを言葉にして伝え、自己肯定感を高めていきたいと思います。

<たくましい子>

独自課題	健康・安全・体力つくりに関する自分の設定した目標を達成した子供の割合を80%以上とする。
向上目標	自分の健康に関心をもち、進んで体力づくりや安全なくらしづくりに取り組む児童を増やす。

◇進捗状況◇

1学期	2学期
62.8%	83.9%

【結果】達成しました。1学期より大幅に増加しています。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※関連する質問項目：9、10、11

1学期の反省を基に、2回目の「八幡健康チャレンジ」を行い、83.9%の児童が自分の設定した目標を達成することができました。今回は学校保健委員会の後に実施したことで健康に対する意識が高まつたことと、メディアコントロールチャレンジと日を分けて実施することで、意識する項目が明確となり取り組みやすかったことが要因だと考えています。特に、学校保健委員会後に実施することで、教員にとっては取組状況について児童に声かけをしやすく、保護者にとっても取組に対する理解が深まり、児童の取組に対し、協力しやすく、それが意欲につながったのではないかと思います。今回の学校保健委員会には10名の保護者に参加していただきました。本来、学校保健委員会は学校・児童・PTAの三位一体の活動です。更に家庭と連携した取り組みになるようにPTAの参加を促したいと思います。

2学期には専門家を招聘し、指導を受けました。ランラン練習会では元マラソン日本代表で世界大会にも参加された磯野あすささんを講師として招き、長く走るためのこつを学びました。学校栄養士には月に一度、学級に入つてもらい、栄養指導をしてもらいました。また、学校保健委員会では、北保健福祉センターの保健師からメディアの正しい利用の仕方について親子で学びました。

また、運動委員会主体で、遊びながら体力つくりができる場を体育館に設置したり、普段の体育の授業やけん玉教室で得意な技を皆の前で披露する場を設定したりする等、体力面、栄養面からも健康を意識できることに取り組んできました。関連する質問項目10「病気やけがのないように心がけている・だいたい心がけている」では児童、保護者とも89%以上が当てはまると前期よりも高く評価しており、これらの取組も相まって高評価に繋がっているように思います。

今回、質問項目9「目当てをもって運動に取り組む・だいたい取り組む」では、評価が上がったものの、ランラン記録会では、自分で立てた目標を達成した児童の割合は低く、意欲が体力の向上に結び付かなかった様子も見られました。運動機能を向上させるためには、意欲と共に、自己の能力の客観視、継続した

努力も必要です。3学期にはピョンピョン記録会（なかよし班毎に行う長縄記録会）を行いますが、確実な体力やパフォーマンスの向上が図れるように、P D C A サイクルを意識して効果的な練習に取り組みたいと思います。また、休み時間には縄跳びを奨励し、個人技の習得にも冬の間継続的に取り組み体力増進に努めたいと思います。

＜富山市の共通課題＞

共通課題	12月までの出席率を98%とする。
向上目標	元気に登校し、楽しく学校生活を送る児童を増やす。

◇進捗状況◇

1学期	2学期	4~12月
98.01%	96.31%	97.16%

【結果】2学期そして1・2学期を通じた累計で、達成することができませんでした。

【アンケート結果を踏まえた考察 及び 今後の取組】※特に関連する質問項目：1

2学期は体調を崩す児童も多くなるため、例年、1学期と比較して出席率が下がる傾向にあります。しかし、関連項目1「学校が楽しい・だいたい楽しい」も、児童・保護者双方について下がっていることから、どの子も登校したくなる魅力溢れる学校の実現を目指したいと思います。そのためには児童が学校運営に主体的に関わる学校を目指す必要があるのではないかと思います。<心ゆたかな子>の項目でも触れましたが、今年度は学習発表会を児童参画型で進め、地域に働きかけ、手ごたえを感じていました。自分の働きかけでよりよいものを作り上げることができたと実感した子供たちは自己有用感を高め、何事にも自信をもって取り組めることが増えたように思います。また、それが登校意欲にもつながるように思います。

3学期には、卒業を祝う会や卒業式が控えています。計画や準備に全ての子供たちが参画し、できるだけ子供たちの思いや発想が反映された行事とすることで、自己有用感に繋げていきたいと思います。

3 その他の項目について

質問項目12「学校は、家庭と連携・協力して、子供の支援・指導に当たっている・だいたい当たっている」では、97.4%もの高評価をいただきました。これまでの取組に対するご理解とご協力に感謝するとともに、これからも気を引き締めて取り組んでまいりたいと思います。

質問項目13「経営方針や学校の取組、子供の様子を適切に伝えている・だいたい伝えている」では前期とあまり評価が変わりませんでした。ホームページについては「授業の様子が見られてよい」「子供の話を聞いたり、話をするきっかけにしたりしたい」とのご意見をいただいている反面、「(学年によって)更新頻度に偏りがある」「更新頻度を上げてほしい」というご意見をいただきました。学級の様子を伝えるとともに、様々な教育活動の様子も適宜お伝えしていきたいと思います。

自由記述欄では、今年度の学習発表会の振り返りとして、「学校や家で練習していた集大成が見られてよかったです」「子供たちが作成したプログラムがよかったです」等の声をいただきました。学習参観・学校保健委員会では、「子供が生き生きとした姿が見られてうれしかった」等の声をいただきました。給食参観では、「給食ができる仕組みが分かりよかったです」等の声をいただきました。他にも「学習発表会に作品展示もあったらよい」「平日開催の行事をオンデマンドで配信したらよい」という改善策もいただきました。記述欄に記入していただいたことは今後の学校運営を見直すための参考にさせていただきます。

今後も地域・保護者の皆様には、いろいろと意見をいただき、児童のために共に協力し合える、社会に開かれた八幡小学校をつくってまいりたいと思います。